

インタビュー

海外安全対策のすそ野を広げたい

海外での事件や事故から日本人を守るために。安全対策強化に向けた外務省の取り組みについて聞いた。

外務省 領事局
邦人テロ対策室 前 室長
上田 肇 さん



増え続ける海外でのリスク

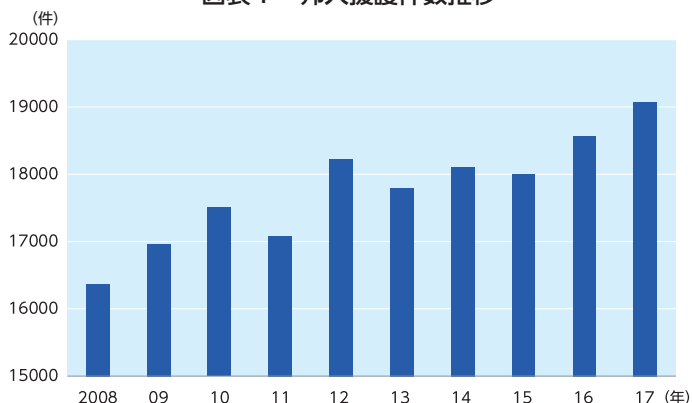
——海外渡航者も企業の海外展開も増加しています。

海外渡航者数は右肩上がりです。もうすぐ2千万人時代に入ると言われています。

海外在留邦人数は2017年に135万人を突破。海外進出日系企業の総拠点数も約7万5500と増え続けています(P.5図表2参照)。

こうした中、日本政府・外務省としては、国内外の幅広いネットワークやODA(政府開発援助)等の各種ツールを活用して、日本企業の海外展開を支援しています。中でも、海外安全対策の強化は重要な柱です。

図表1 邦人援護件数推移



出所：外務省 海外邦人援護統計

——海外で日本人が巻き込まれる事件や事故が後を絶ちません。

海外渡航者の増加に伴い、在外公館が行う邦人援護件数も増加傾向にあります(図表1)。

強盗や窃盗、詐欺といった犯罪はもちろんですが、新しいかたちの犯罪にも注意が必要です。例えばメキシコなど中南米地域で多発しているバーチャル誘拐(恐喝・偽装誘拐)。これは実際には誘拐していないのに、誘拐を装って短時間のうちに現実的に支払い可能な金額を振り込ませるという手口です。

テロは件数こそ減っていますが、今年4月にスリランカで発生した事件では日本人が1人犠牲になりました。不特定多数が集まる施設や公

公共交通機関を狙ったテロなど、特に企業が多く進出している地域では油断禁物。安全な日本に慣れきった意識で海外渡航することは危険です。あらかじめ外務省の海外安全ホームページで、どのような事件・事故のリスクが高いか、国・地域ごとに異なるので傾向を把握し対策を練っていただきたいと思います。

外務省では365日24時間体制で緊急電話に対応する体制を構築し、